

# 互いの“できる”を重ね、重層的な支援体制へ

－令和3年度から始まる 重層的支援体制整備事業－



久留米市 健康福祉部 地域福祉課

# 久留米市の紹介 (令和3年9月1日現在)

- 人口 : 303,617人
- 世帯数 : 138,399世帯
- 面積 : 229.96km<sup>2</sup>
- 高齢化率 : 27.6%
- 沿革 : 明治22年 我が国初の市制施行  
(全国の38市とともに)  
平成20年 中核市へ移行  
平成31年 市制施行130周年



# 主な支援関係機関

- ・ **地域包括支援センター** : **11ヶ所**
- ・ **障害者基幹相談支援センター** : **4ヶ所**
- ・ **生活自立支援センター** : **1ヶ所**
- ・ **こども子育てサポートセンター** : **1ヶ所**  
(母子健康包括支援センター)
- ・ **保健センター** : **保健所+ 5ヶ所**

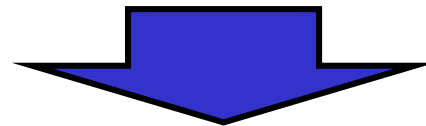
# 成果と課題をふまえ 重層的支援体制整備事業をスタート

## 久留米市のこれまで

- ・ 高齢・障害・子ども・生活困窮といった分野ごとに相談支援体制の充実や地域づくりを推進
- ・ 分野ごとに専門職を配置した相談窓口を設置し、市民の相談や支援に対応

## 背景や課題

- ・ 少子高齢・人口減少社会や、地域のつながりの希薄化が進行。地域を取り巻く環境は大きく変化
- ・ 個人や世帯でいくつもの課題を抱え、複合的な課題や、制度の狭間の課題が表面化  
これらの課題への対応が必要



## これまでの相談支援体制や地域づくりの成果(基盤)

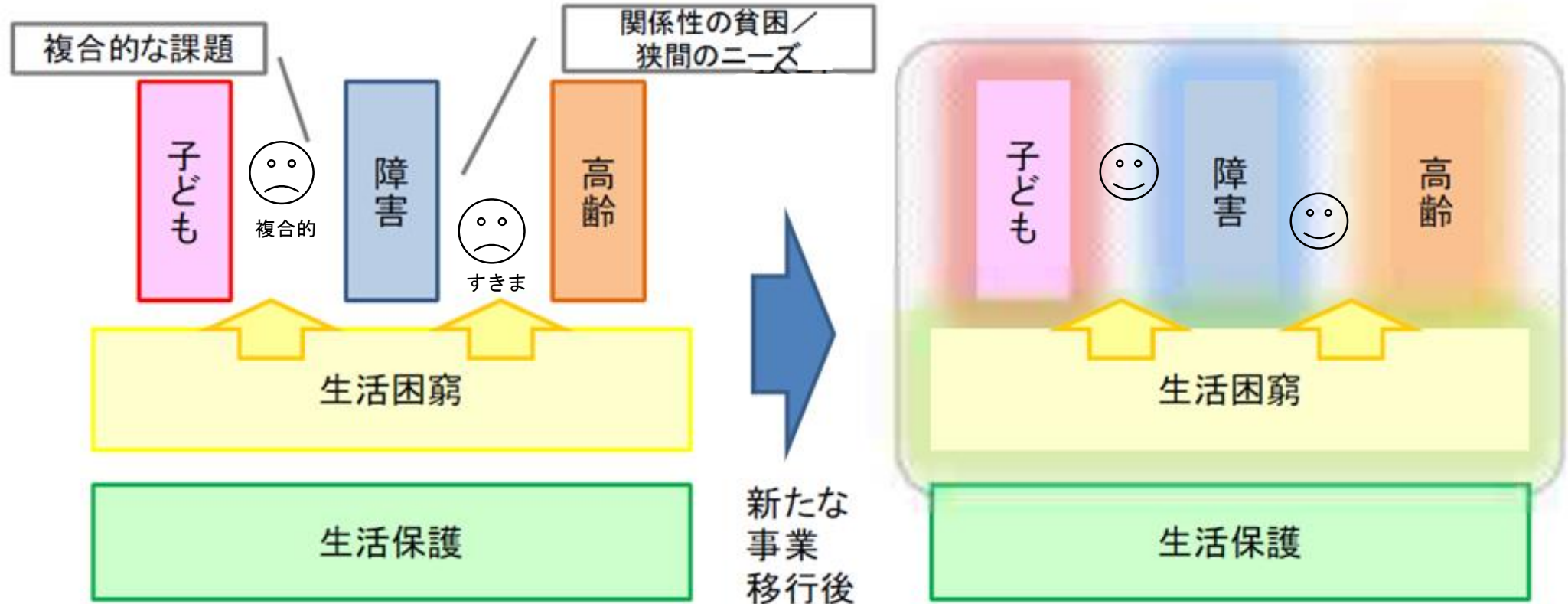
- + 相談支援体制の連携強化、支え合う地域づくりの推進
- + 参加支援をはじめとする新たな事業

⇒ 困りごとを抱えながらも地域で暮らしていける仕組みを構築



くるめ支え合うプラン

# 重層的支援体制整備事業への移行イメージ



各分野ができることをじわっと広げ、  
複合的な課題や制度の狭間の課題に対応

# 地域共生社会の実現へ、属性・世代を問わない支援体制の整備

## **新** 久留米市における重層的支援体制整備事業（総額）838,025千円

－既存の相談支援・地域づくり事業に参加支援や連携強化を加え、一体的に取り組む事業－



区分	分野	久留米市における重層的支援対象事業	
相談支援	介護	地域包括支援センター運営事業 (※)	
	障害	障害者基幹相談支援センター運営事業	
	子ども	子育て世代包括支援事業 (こども子育てサポートセンター運営経費 (人件費含む))	
	困窮	生活困窮者自立相談支援事業	
	-	支え合いの仕組みづくり事業 (アウトリーチ事業)	新規⇒社協に委託
参加支援	-	支え合いの仕組みづくり事業 (多機関協働事業)	新規⇒社協に委託
	-	支え合いの仕組みづくり事業 (参加支援事業)	新規⇒(株)アソウ・ヒューマニティーセンターに委託
地域づくり	介護	地域介護予防活動支援事業 (※)	
	介護	生活支援体制整備事業 (※)	
	障害	地域活動支援センター運営事業	
	子ども	子育て交流プラザ事業、児童センター事業、つどいの広場事業 地域子育て支援センター事業 (人件費含む)	新規⇒Chietsuku & 拓くJVに委託
	困窮	支え合いの仕組みづくり事業 (見守りネットワーク事業、避難行動要支援者支援、支え合うプラン取組推進事業) 子ども食堂事業費補助金、市民活動・絆づくり推進事業	
計			

※印の3事業は、重層的支援体制整備事業として一般会計で会計処理 (社会福祉法の一部改正：R3.4月施行) されることに伴い、介護保険事業特別会計から一般会計へ移行します。

# 包括的相談支援

これまで対象者や分野ごとに充実させてきた相談支援体制の連携を強化し、相談者の属性、世代、相談内容に関わらず幅広く受け止め、抱える課題の解きほぐしや整理、適切な支援関係機関へのつなぎを行う体制へと再構築する。

まだまだ  
これから

地域包括支援センター

障害者基幹相談支援センター

- ①分野外の相談でも、まず、受け止めたうえで、聞き取った情報を、担当機関につなぎます
- ②本人の強みや生きがいにも着目し、地域との関係づくりの視点からもよりよい方法を考えます
- ③本人だけではなく、世帯全体に目を向けて、気になることを担当機関につなぎます

こども子育てサポートセンター

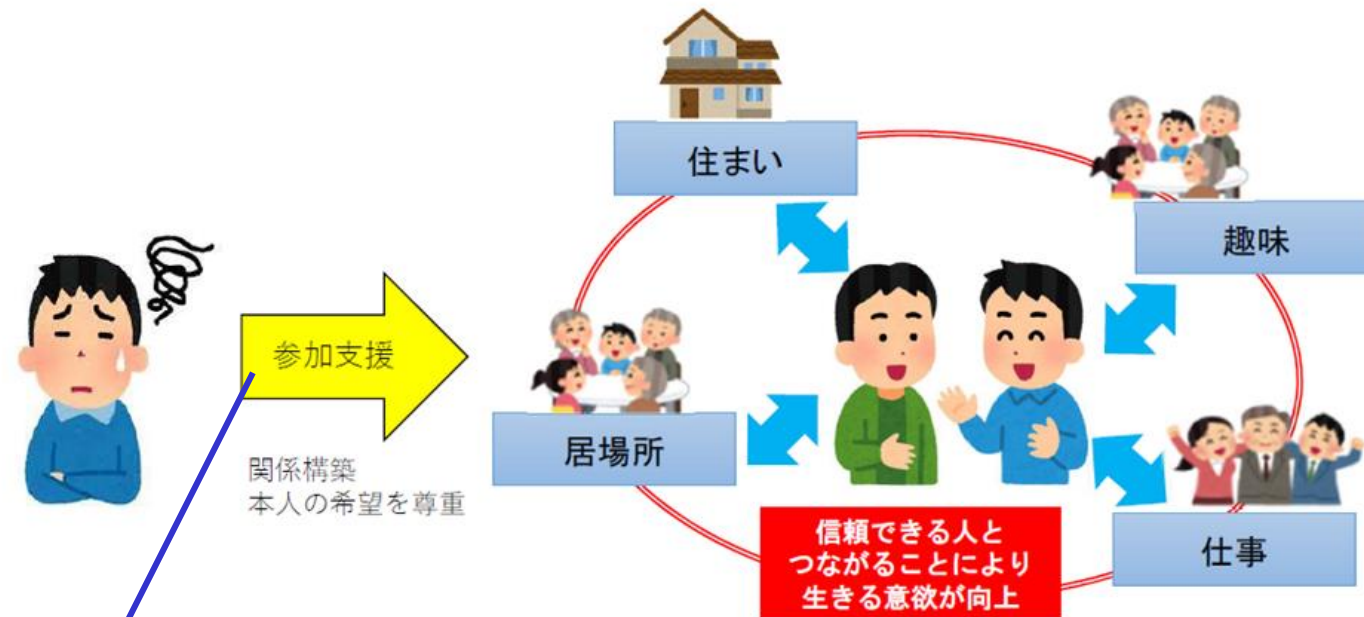
生活自立支援センター

社会福祉協議会



# 参加支援

長期のひきこもり状態で社会に出ることに不安がある人などが対象。本人や世帯の希望に沿って、地域資源を活用又は創出しながら、安心できる居場所の紹介や、就労支援、居住支援などを行い、孤立感を和らげ、段階的に社会とのつながりを回復していく支援を行う。



委託先:(株)アソウ・ヒューマニーセンター



人材派遣のネットワーク  
他市での就労支援のノウハウ

【連携先の例】

行政機関、支援関係機関、就労支援機関、  
居住支援団体、NPO関連の中間支援組織  
久留米市社協、市民活動団体 等

# 地域づくりに向けた支援

これまで対象者や分野ごとに実施してきた事業を継続しつつ、これまで対象とならなかった人や分野にも拡充。地域の多様な活動を支援しながら、地域社会からの孤立を防ぐとともに、多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す支援を行う

まだまだ  
これから

## ★対象事業の例

- ・ 一般介護予防事業
- ・ 地域活動支援センター運営事業
- ・ くるめ見守りネットワーク事業
- 新規** ・ 支え合うプラン取組推進事業
- ・ 生活困窮者社会資源活用促進事業
- ・ 久留米市市民活動・絆づくり推進事業費補助事業
- ・ 生活支援体制整備事業
- ・ 地域子育て支援拠点事業
- ・ 避難行動要支援者支援
- ・ 小地域ネットワーク活動
- ・ 子ども食堂支援事業

# 重層的支援会議・支援会議の概要



項目	内容
開催日	毎月第4水曜日（+必要に応じて臨時開催）
運営者	多機関協働事業者（久留米市社協）
参加者	地域包括支援センター/長寿支援課
	障害者基幹相談支援センター/障害者福祉課
	こども子育てサポートセンター
	生活自立支援センター/生活支援第2課
	アウトリーチ事業者及び参加支援事業者/地域福祉課
	その他、ケースに応じて必要だと思われる人（民生委員、自治委員、ケアマネ、市の関連課等）
主な協議内容等	<b>【重層的支援会議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランの適切性の協議</li> <li>・ プラン終結時等の評価</li> <li>・ 社会資源の充足状況の把握と開発にむけた検討 等</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">                     例) 認知症傾向の母と住む40代。コミュニケーションが苦手。増収が必要なケース                 </div>
	<b>【支援会議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気になる事例の情報提供・情報共有</li> <li>・ 見守りと支援方針の理解 等</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">                     例) 市営住宅に住む50代。ごみが山積しているケース                 </div>

# 久留米市の地域づくりの例

## 支え合い推進会議 (第2層協議体)

地域生活課題の解決に向け、校区コミュニティ組織単位で必要な仕組みづくりや既存の取り組みの充実について話し合う場（46校区中現在45校区に設置）



支え合い推進会議の様子

### ◆会議のテーマ

- ・ 高齢者の地域生活課題
- ・ 子どもの地域生活課題
- ・ 防災に関する地域課題 など

### ◆支援体制

生活支援体制整備事業として  
生活支援コーディネーター11人を配置  
(久留米市社協に委託)

## 小地域ネットワーク活動



訪問活動の様子

校区コミュニティ組織単位で、ボランティア団体であるふれあいの会が活動（現在38団体）

### ◆主な活動内容

- ・訪問活動

（ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等）

- ・食事サービス（会食・配食）

- ・サロン（自治会単位）

→気になったことは班長会で報告したり、民生委員につないだりすることで一人で抱え込まないようにしている。

# 久留米市市民活動・絆づくり推進事業費補助金



市民活動の様子

市民の皆さんとの協働によるまちづくりを推進するため、NPO法人やボランティア団体が行う市民活動に対して、必要な経費を助成するもの

## ◆補助対象事業部門

- 身近な課題解決に取り組む「かなえるニーズ部門」
- 市が設定するテーマに関し、担当課と団体が協働して課題解決に取り組む「協働パートナー部門」
- 地域コミュニティ組織が地域の課題解決に取り組む「地域まちづくり活動活性化部門」

## 久留米市市民活動サポートセンター みんくる

ボランティアやNPOのネットワークづくりや  
情報発信、イベントや会議の場の提供など、  
市民活動を活性化



## 久留米市社会福祉協議会 ボランティアセンター

市民が取り組むボランティア活動を支援し、  
ボランティア活動のさらなる活性化を推進





**興味関心**に基づく地域づくり？

きっかけは…H29～R1年度に実施した

「保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発・普及のための環境整備事業」

超少子高齢化・人口減少社会にどう向き合うかをテーマに、  
社会福祉法人・まちづくりの若手・行政・社協が  
コンソーシアムを形成

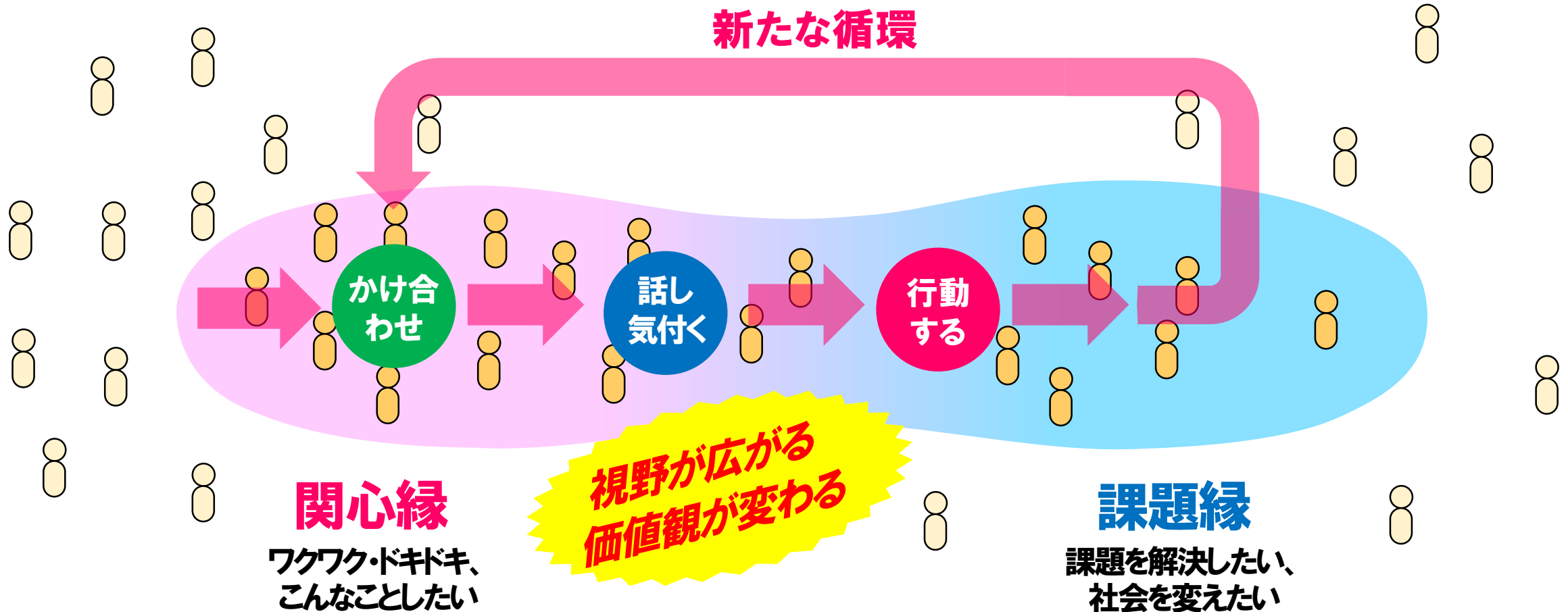


【3年間で振り返って気づいたこと】

- ・ 解決型思考だけではなく可能性型志向も
- ・ 異世代×異文化のかけ合わせが可能性を生む
- ・ 民間と行政が事務局を協働運営できる
- ・ 興味関心から地域課題に気づくことがある

# 次世代を担う若い人が多面化していくためには

関心縁から地域にローカルログインすることからはじまる



# 次世代を担う若い人が多面化していくためには

興味関心からイベントや企画に参加

活動を共にする

かけ  
合わせ

これまでにない多様な人との出会い

話し  
気付く

話す中で、仲間や自分の課題に気づく

行動  
する

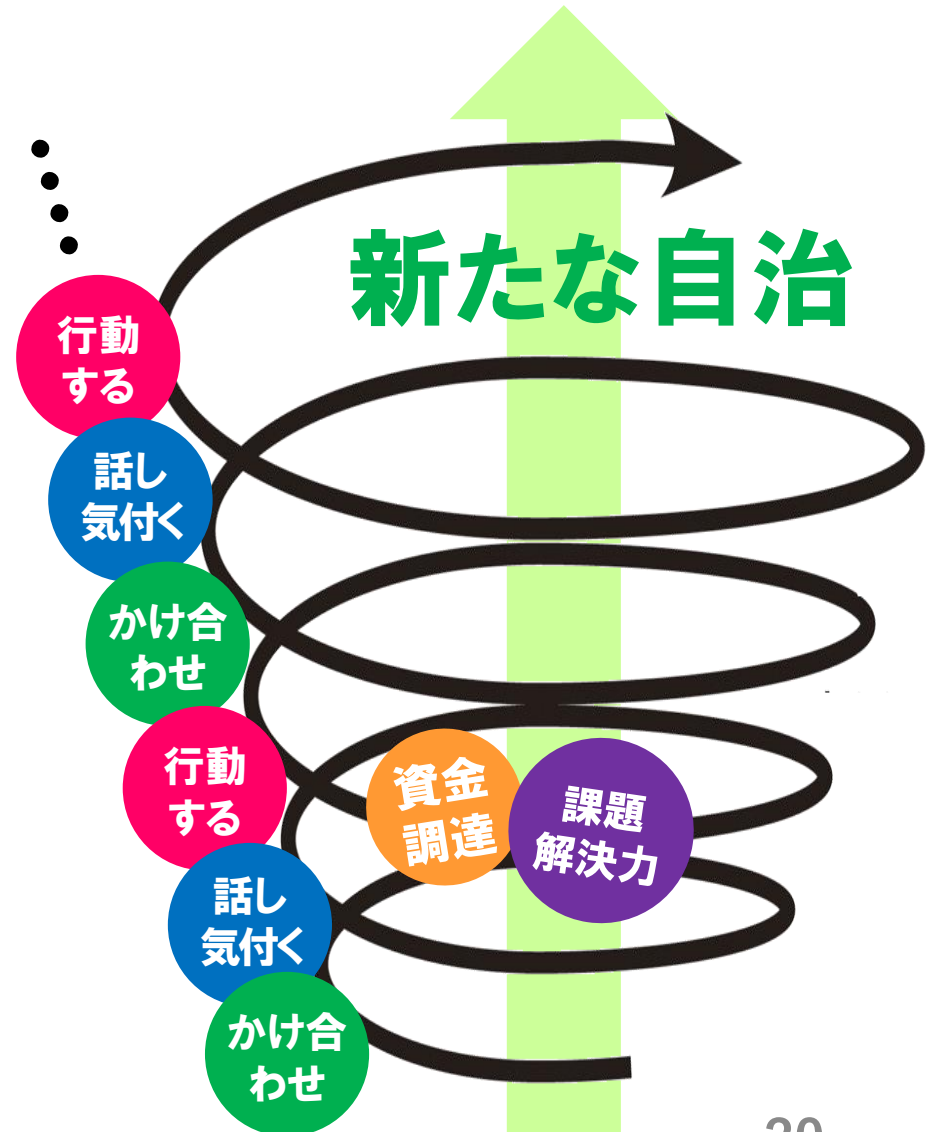
課題を解決するために行動を起こす

×

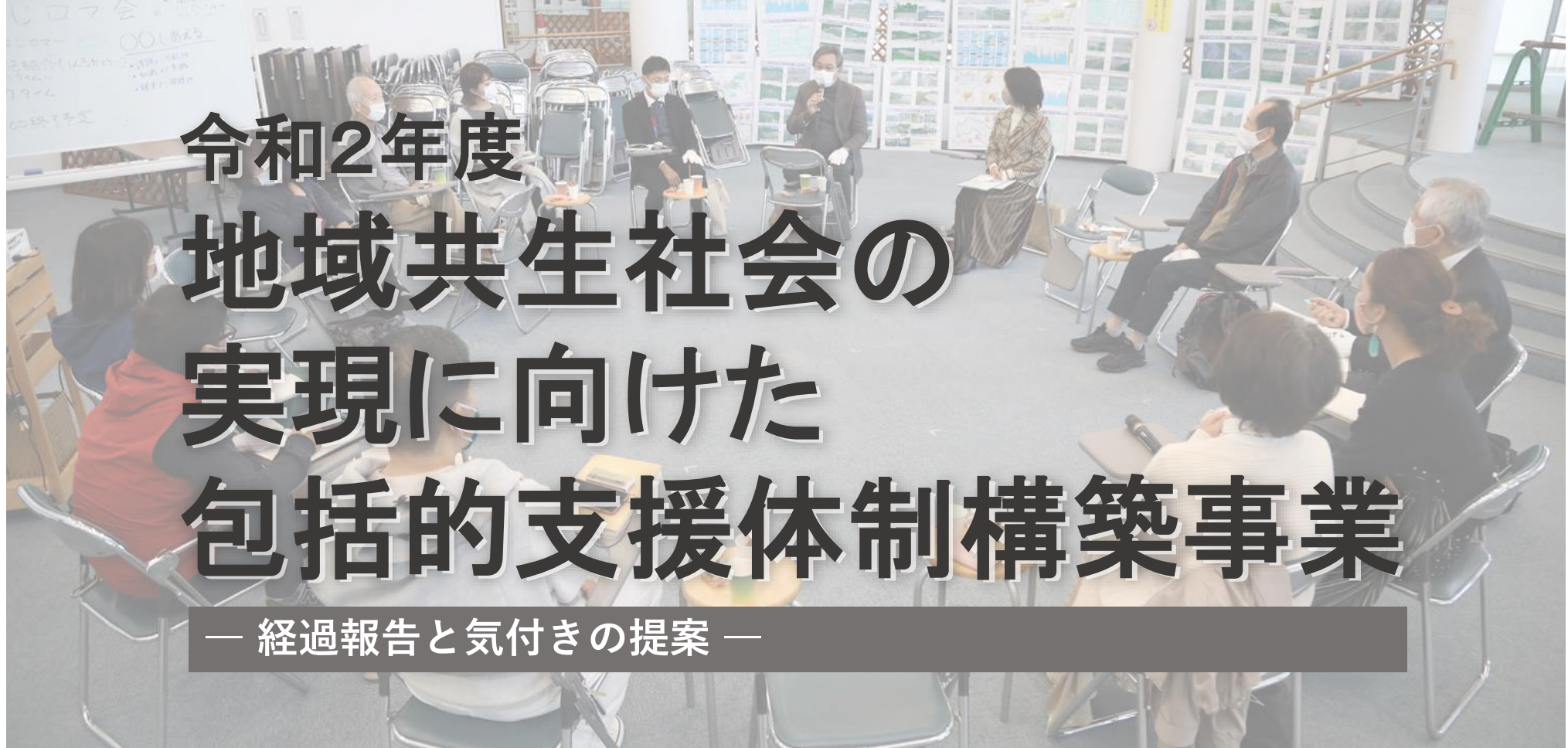
資金調達

×

課題解決力



**興味関心**から課題に気づくのも**あり**。  
どうやったら出会いが広がるだろう。  
どんな**プラットフォーム**が必要だろう。



# 令和2年度 地域共生社会の 実現に向けた 包括的支援体制構築事業

— 経過報告と気づきの提案 —



久留米市  
(地域福祉課・協働推進課)



久留米市社会福祉協議会



Chietsuku,Pjt

知恵つくプロジェクト

わたし達のミッションは  
地域共生社会づくりに必要な  
プラットフォームを  
つくること。



久留米市  
(地域福祉課・協働推進課)



久留米市社会福祉協議会



Chietsuku, Pjt

知恵つくプロジェクト

# プラットフォームって？

場所のこと？プロジェクトのこと？

人が集まること？

出入り自由な感じ？

# 地域共生社会って？

問いから  
始まった

共に生きる社会ってこと？  
多様性？多世代？異文化？  
人と人が関わること？



# 2020- 生まれた3つのプラットフォーム

ただただ  
ロマンを語り合う  
プラットフォーム

はじロマ会

**実験**

- ✓ 目的を持たない会
- ✓ ロマンの効果
- ✓ フラットな立場
- ✓ オープンマインド

中間支援組織が  
つながる  
プラットフォーム

IC UNIT

**実践**

- ✓ 校区への関わり
- ✓ 組織の協働事業
- ✓ 校区でロマン自慢大会を実現
- ✓ 組織としてのプロセスづくり

地域福祉を  
一般化する  
プラットフォーム

地域福祉  
一般化会

**実態**

- ✓ 3者での価値観の融合
- ✓ 成果をプロセスに
- ✓ お互いの役割の把握
- ✓ 関わった人の意識変化



実践

# 多世代・多分野交流サロン 第2木曜ははじロマ会



中間支援組織同士が、  
やりたいけどできていない  
ことを出し合い、得意分  
野を重ねて協働する  
プラットフォーム



久留米市社会福祉協議会



IC  
UNIT



筑後川防災施設くるめウス



市民活動サポートセンターみんくる

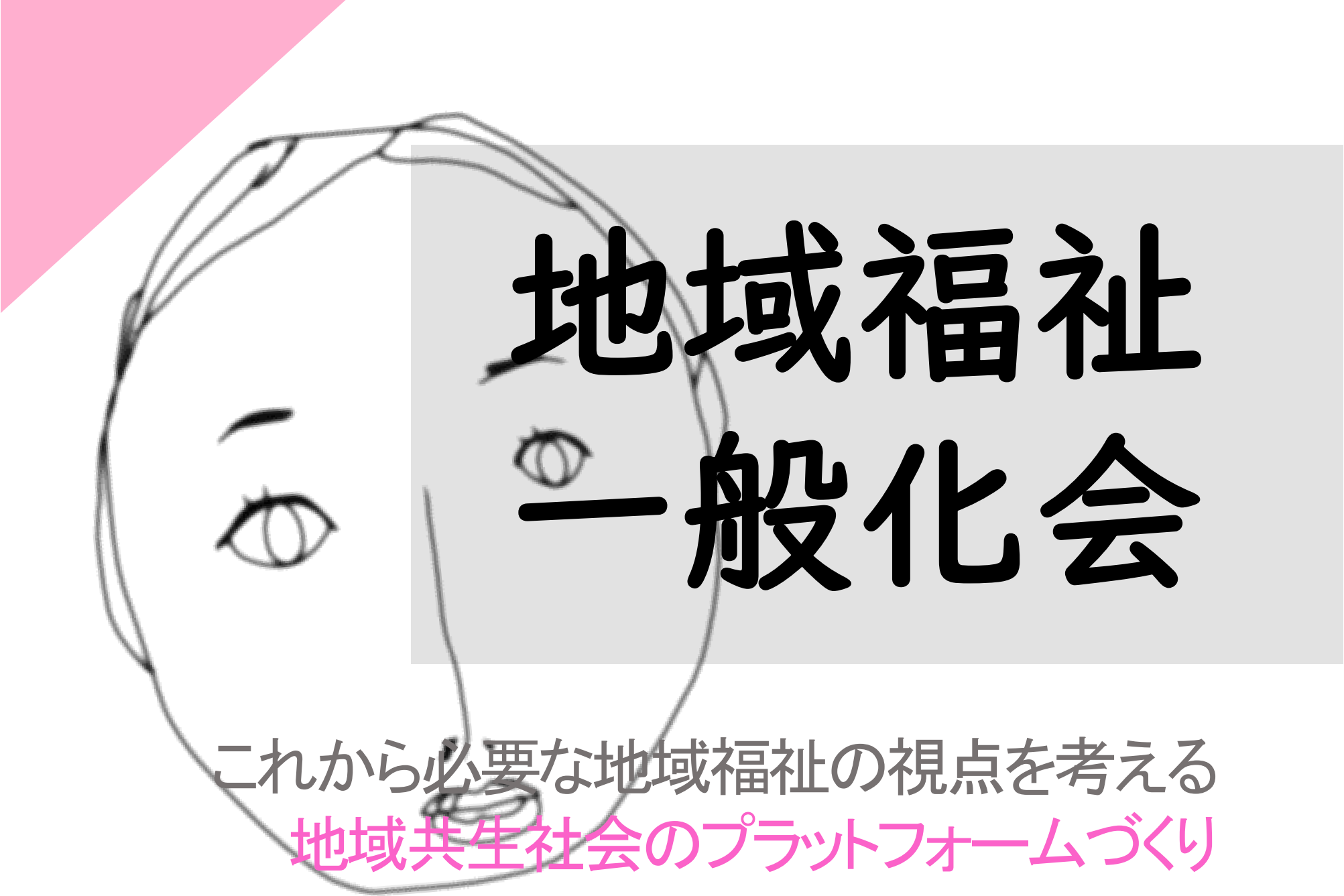


実践

中間支援組織の力を結集して、校区文化祭をオンライン化

# 江上校区でロマン自慢大会





# 地域福祉 一般化会

これから必要な地域福祉の視点を考える  
地域共生社会のプラットフォームづくり

## 誰に何を伝えればまちは変わるのか

「地域福祉」「地域共生社会」などという言葉は一部の人間のもので、この動き自体が理解できないのではないかという疑問。誰もが関わるこの概念を一般化するには、何が必要なのか。

毎月2～3回、市・社協・チエツクpjtが集まり、対話を通して地域福祉を一般化する必要性や定義、何を実現するべきなのかを考えた。

### プラットフォームづくり

- ▶ 実践と対話の繰り返し
- ▶ 立場を置いて自由に発言
- ▶ 実践から見えたことをアップデート

提案

ところで

「地域福祉」ってなに？

自治会

見守り

福祉施設  
支え合い

障害者

# 地域福祉

近所づきあい

声掛け

高齢者

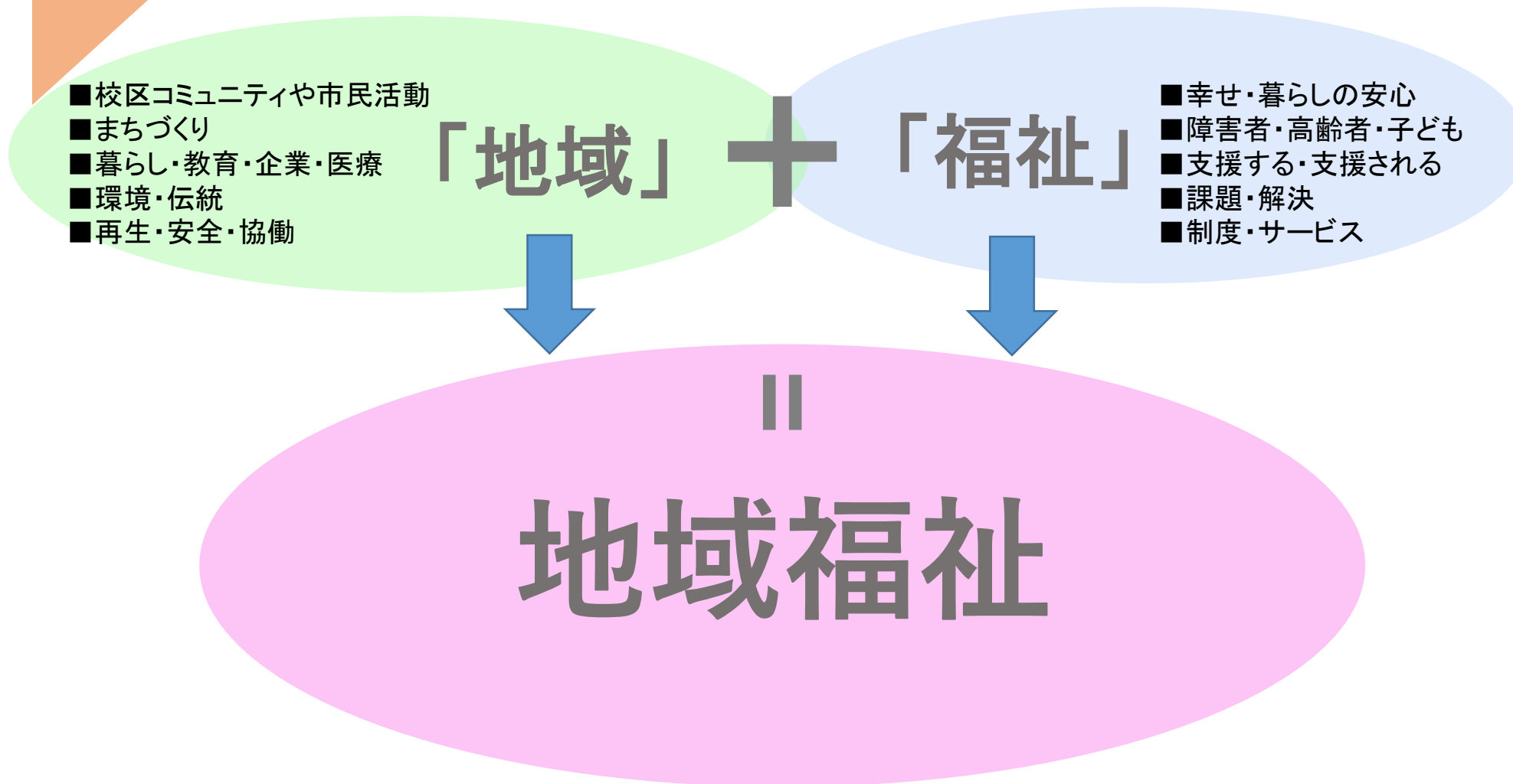
者

思いやり



# 地域福祉

私たちは地域福祉をこう捉えてみた



「地域福祉」を私たちの言い換えれば

“誰もが住民として  
「 」し合える暮らし”

“地域共生社会”は、  
『地域福祉』を推進した先にある。

では、

地域福祉の推進とは？

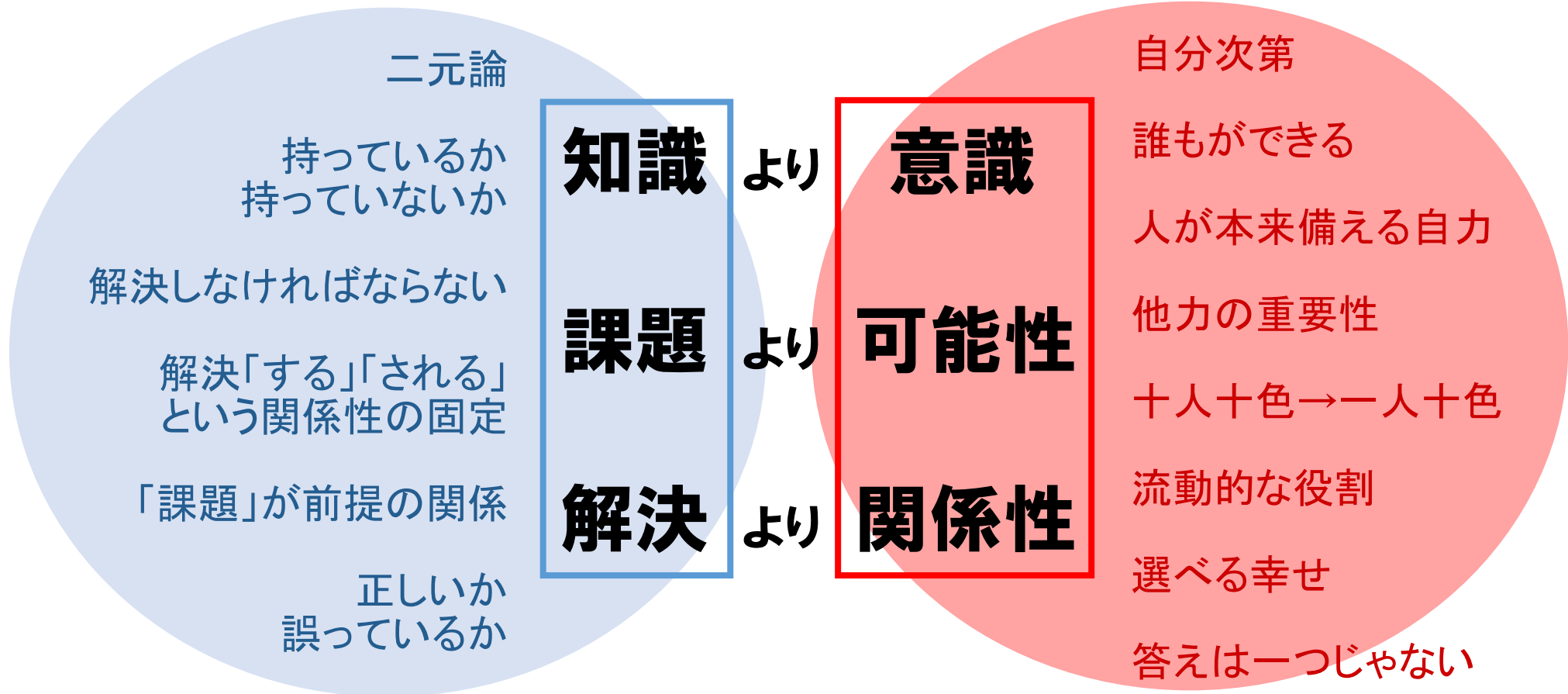
では、「地域福祉の推進」を私たちの言い換え。。

“「  
」し合える”を  
めちやくちや増やすこと

だと考えます。

思考・発想の転換で

# 関わり方の別の入口に気づく



# 福祉制度

# 住民として

## 知識

知識を持った人が、  
目の前に迫った課題を  
解決する手法を考える。

## 課題

今後も必要なこと  
でも、全員が  
この手法はとれない

## 解決

## 意識

人に意識を向け、  
可能性(強み)を考え  
関係性から始める。

## 可能性

すぐには変わらない  
でも、持続可能で  
誰もができる関わり

## 関係性

関わり方の入口を増やし、久留米らしい  
**支え合う文化を育みたい。**  
どんな**かけ合わせのプラットフォーム**が  
有効だろう。



## 支え合う文化の醸成

久留米の豊かな社会資源や地域性を活かした  
支え合う文化の醸成を促す  
久留米らしいプラットフォームを生み出すこと。



久留米市  
(地域福祉課・協働推進課)



Chietsuku, Pjt

チエツクプロジェクト



社会福祉法人 拓く

## ① 新創造プラットフォーム「地域福祉NEO」

発想・視点  
概念・思考

# 3つのNEO



地域福祉に根を

×

地域福祉ネオ

×

地域福祉に本音を

この街に住み関わる人達が、  
混ざり合う中で  
実感が生まれていく

この街に住み関わる人達が  
暮らしの課題や習慣、  
希望や幸福感を更新していく

この街に住み関わる人達が、  
本音を伝え合えることで  
生まれる

自分ごとの  
支え合い

進化する  
支え合い

深まる  
支え合い

×

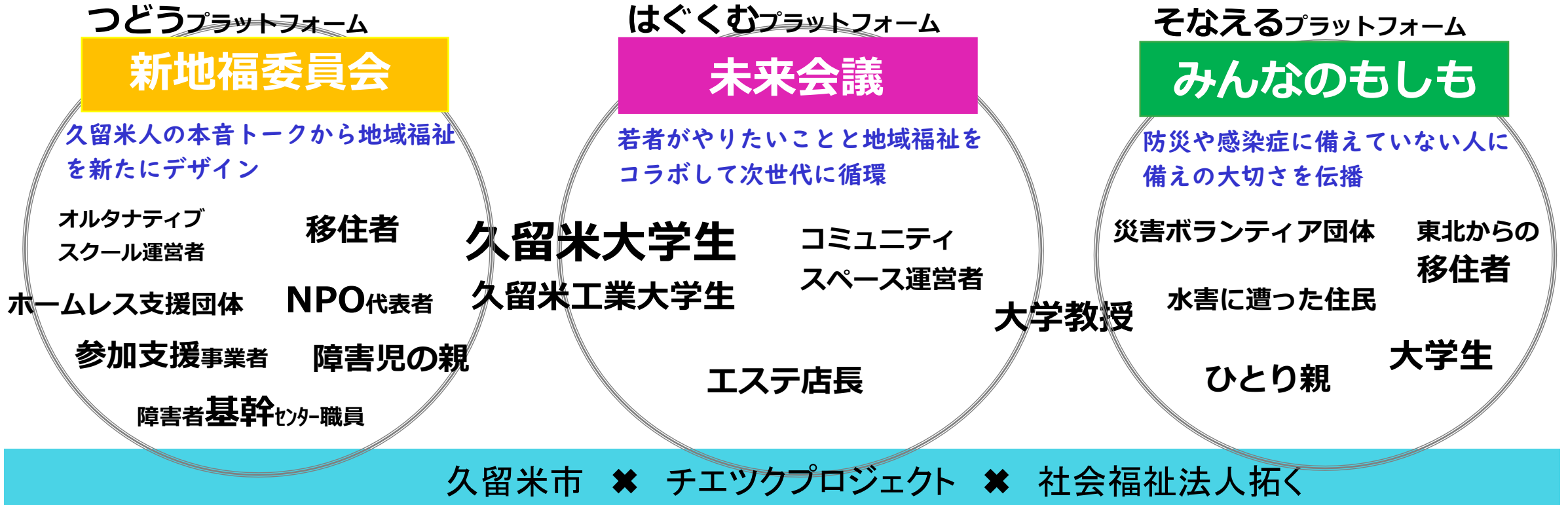
# くるめ支え合うプラン

実践

# 支え合うプラン取組推進事業



様々な課題を抱えながらも、住民が自分たちで暮らしを支え合っているような関係性を幅広い世代で育み、持続できる方策を企画・実践する。



つたえるプラットフォーム  
**地福TV**



各プロジェクトの成果をくるめオンライン公民館番組内で発信

**事業**は**地域**にどんな**影響**を与えたのだろうか。

# 立場を超えて本音で 向き合える関係性を紡ぐ

H29~R1  
コンソーシアム事業

R1~R2  
包括的支援体制構築事業

R3~  
重層的支援体制整備事業  
-支え合うプラン取組推進事業-

事業の他にも  
人との出会い、意識の変化で  
多彩な活動が誕生

ひとり親支援拠点 **じじっか**  
久留米オンライン公民館  
コミュニティスペース **ぷらっと.荘島**  
児童発達支援 出会いの場 **Leo**  
地域に優しい創意工夫のお店 **本業+a**  
NPO法人 **久留米10万人女子会**  
シミュレーションブレンド **備えあいフェスタ**

# 支え合い事例 発信しています

R2年度配信  
くるめ支え合うプラン  
WEBコラム (全13話)

R3年7月スタート  
地域福祉マガジン【グッチョ】



**note**に 文章や写真、音声などを投稿  
できるプラットフォーム  
記事を載せています

 久留米市公式アカウントができました



お伝えする時間をいただき  
ありがとうございました。

---不具合は改善のチャンス---